

質問しました

question

野坂明典



まめまめクラブ

Q 介護保険の介護予防を重視した改正がされようとしている。介護度が要支援、介護度一・二度の方が六五%を占めているのであるから、その方たちを出来るだけ介護度が進まないようにすることが大切である。町は何か対応するものがあるか。

A 町長 南部箕蚊屋広域連合と連携し制度改正は介護給付金の町村負担は一〇%の均等割と九〇%の利用町村負担になっている。スケールメリットは殆どなくなっている。介護予防事業を連合内でするには手順を踏んで他町の同意を得なければならず小回りがきかない。自己決定・自己責任の立場からも介護保険は南部広域連合から脱退し、伯耆町単独運営を目指す

正に対応する。

Q 三年前に始まった「ゆとり教育」が変更されようとしている。教育

A 教育委員長 教育委員会が修学すべき学校を定めており、保護者の申し立てにより相当と認められたときは変更も可能であるが、今は変更する考えはない。

Q 合併を期に通学区区を変更する考えはないか。

A 教育委員長 ランチルームのような施設の場合には学校改修の時、設備や備品等については急を要するものから順次対処する。

Q 旧町で学校施設に格差があるように思うが是正する考えはないか。

A 町長 制度改正の時こそ連合と歩調を合わせながら、それぞれの構成町村の独自性をも兼ね備えた施策が必要であり連合は継続していきたい。

べき時期が来ていると思うが、町長の考えを聞く。

Q 植田正治写真美術館の新理事長に就任され

高塚禮二

A 教育長 ゆとり教育の基本理念は変更されるものではないと考えているが、学力の向上には鋭意取り組んでいく。

は長いスパンで見なければならぬのにいささが拙速すぎると思うが見解を伺う。

A 町長 地域の文化振興と活性化を目指し十年が経過した。全国各地から約三十二万の方々に植田正治さんの写真文化に触れていただき、本町を全国にアピールする事ができたと評価しているが、財政的な負担も承知している。管理運営については、議会の意見を求めながら検討したいと考えている。



町立写真美術館

？ ？ ？ こんなことも any other

Q 合併後四年ごとに町長、議員選挙が別々に行われる。経費削減どころか増える事になると思うが。

A 町長 試算してみると合併前より多少増額になる。

一月の町長選挙の実績額で九百万円程度、四月の町議会議員選挙の予算が千三百万円程度と見込んでいる。合併前では約二千万円、合併後では約二千二百万円で約二百万円増額になる。

合併後、仮に町長、町議会議員を同日に執行すれば一千七百万円程度になると見込んでいる。

奥野 弘

Q 平成十六年四月一日現在の「鳥取県男女共同参画マップ」によると、県内市町村における審議会等の女性比率の平均は約二三％・管理職二一％委員会等は一％となっている。伯耆町になつて

各階ご案内		Floor Information	
3F	議長室	議場	
	議会事務局	議員控室	
	大会議室	行政委員会室	
	第1委員会室	第2委員会室	
	第3委員会室		
2F	町長室	助役室	
	総務課	企画振興課	
	商工観光課	企画調整室	
	応接室	企画調整室	
1F	税務課	住民課	
	生活環境課	産業課	
	建設課	上下水道課	
	健康課	福祉課	

何パーセントか。

A 町長 審議会等の女性登用率は約二五％・管理職は一三％・委員会等は四％となっている。

Q 審議会等の構成は、同じ人がいくつもの委員に就任していないか。

A 町長 できる限り就任の重複は避けたいとは考えているが、限られた町民数の中での選任である程度の重複はやむを得ないものと思つている。

Q 教育委員会には平成十六年四月一日現在女性委員が両町に一名ずつとなつていたが、合併に伴う新委員に女性委員を推挙しなかつたのは何故か。

A 町長 特に、地域の教育実情や、旧町のこれまでの経過を十分承知いただいている方をという点を重視して選任した。今後は毎年委員の改選があるので、幅広い視点で女性の参画も十分念頭におき選任したいと考えている。

Q 平成十六年度の美術館の実質町負担額は四千九百二十六万円。旧岸本町の十六年十二月一日現在の人口七千三百三人が均等に負担すると六千七百四十五円ずつになる。今後は、住民負担額を明確に示し、各種会合の場で住民との対話集会を開催し、住民の意見を聞き、住民の発想、知恵の吸い上げに努めてはどうか。

A 町長 現在、写真美術財団運営委員会を設置し、ご意見、ご提言を

美術館運営に生かしている。また、美術館友の会の総会や役員会の際にもご意見等をいただいている。今後は、まちづくり委員会等を通じて、広く住民の皆様のご意見をいただきながら進めていく。

勝部 博史

Q 協働のまちづくりの観点から集落住民との意見交換会の開催は。



廃止となった岸本駐在所